

船橋市長 藤代孝七 様

平成24年度

市議会公明党として要望書を提出いたします。

3月11日に発生した東日本大震災によって、津波、液状化、原発事故による放射能汚染等々未曾有の災害に見舞われてから8か月が経過しました。

その復興の歩みが遅々として進まない現状の中、国外に目を転じればギリシャに見る欧州金融危機の問題や円高問題により、立ち直りの兆しを見せていた我が国の経済状況は失速状態となり、さらに深刻の度合いを高め、国民・市民生活に多大な影響を及ぼしております。

更に追い打ちをかけるように、国内政治における消費税の増税論議やTPP交渉参加問題、年金の受給開始年齢の引き上げ等々、国民不在の議論に終始する今日的な政治状況に、政権与党に対する不満や憤りは益々増幅されております。

予算編成に関する要望書

しております。

そのような状況を踏まえた上で、明年の予算編成にあたっては、徹底した行政のムダ削減を図りつつ、市民サービスの向上、地域経済の活性化、災害に強い都市を目指し、そして「いきいきとしたふれあいの都市 船橋」の構築のため、更には「支えあう船橋・支えあう日本」のため、いかにリーダーシップを発揮し、引き続き全力で取り組まれますよう要望いたします。

平成23年11月18日

船橋市議会

公明党市議団

明
徳
秀
松崎 裕次 石崎 幸雄
藤川 浩子 橋本 和子
松橋 浩嗣 仲村 秀明